

フライホイール打刻印一覧 (R25-R100GS/R : 1951-1995)

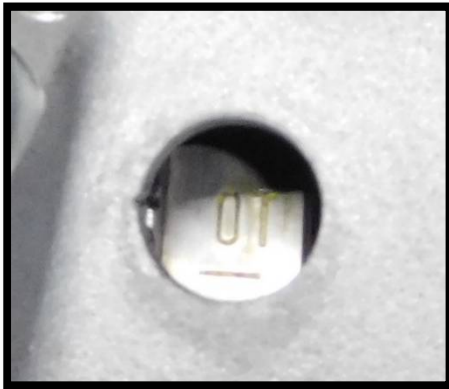
表示	意味	ドイツ語	日本語	相当英語
OT	OBERE TOTPUNKTE		上死点	TDC (TOP DEAD CENTER)
S	SPAET (シュペート)		遅い	RETARD
F	FRUEH (フリュー)		早い	FULL ADVANCED
Z	FRUEH		1981年モデルからFの代わりに表示された	

エンジンの味付け、環境対応などで点火時期の角度や進角範囲はモデル、年式によって異なっています。また点火時期/進角速度/バルブクリアランスの点検調整に必要な情報がフライホイールに打刻されています。

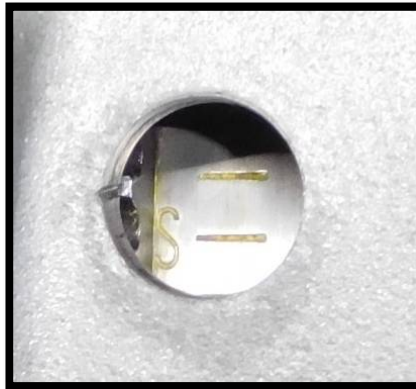
ドイツ製品なのでドイツ語表示になっているため戸惑うこともあるかと思えます。

年式別モデルの表示方法/角度をまとめてみました。

ちなみにチェックホールの穴径は16ミリでクランクシャフトの8度に相当します。



1980年トリガー・ポイント



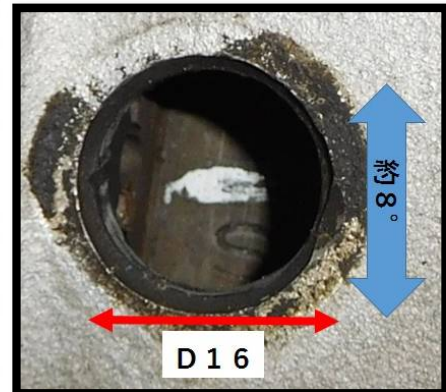
Sマークが3本



1981年以降 OT/S マーク

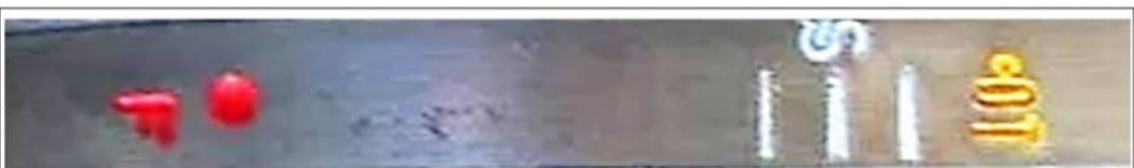


最大進角時「F」から「Z」に変更された R69 鉄球埋込みで確認しやすい



16ミリはフライホイール8度相当に

CRIMECA

MARK	DEG	R69	R50-69S	R- /5	R- /6前	R- /6後	R- /7	1980	1981→	DEG
	0	←OT	←OT	・OT	・OT	・OT	・OT	OT	— OT	0
	3					—	—	—	—	3
	6					S—	S—	S—	S—	6
	9					—	—	—	—	9
	12	● S	— S	— S						12
	31					● F				31
	32						● F		Z	32
	34							● F		34
	37									37
	39									39
	42									42

REMARKS :

※1 : 手動運角併用1.0° 運角可能 Sマークはボール打ち込み ※2 : ボイント式トリガー仕様 ※3 : トランジスタ式 (運角は機械式)

CRIMECA 調べ